

- 問1 北海道の道庁所在地である札幌周辺の地理的特徴と、地名の由来について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
1. 十勝川の流域に広がる十勝平野に位置し、地名は江戸時代の松前藩の役職名に由来する。
 2. 石狩川や豊平川の堆積作用によって形成された石狩平野に位置し、地名は先住民であるアイヌの言葉に由来する。
 3. 広大な泥炭地が広がる石狩平野の沿岸部に位置し、地名は本州から移り住んだ開拓使の言葉に由来する。
 4. 大規模な火山灰地が広がる根釧台地に位置し、地名は明治時代に移り住んだ屯田兵の出身地に由来する。
- 問2 日本の北端に位置する北海道地方は、本州の大部分とは異なる気候の特色を持っています。夏は短く涼しい一方で、冬の寒さが非常に厳しく、季節による気温差が大きくなるこの気候帯の名称を、次の中から選びなさい。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
1. 亜寒帯（冷帯）
 2. 温暖湿潤気候
 3. ツンドラ気候
 4. 西岸海洋性気候
- 問3 日本の農業統計において、北海道は1戸あたりの経営耕地面積が10ヘクタール以上の大規模な農家が約6割を占めており、これは全国平均の約2.5%と比較して極めて高い数値です。また、農業産出額の構成比では、乳用牛や肉用牛などの部門が50%を超えています。このような北海道の農業の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
1. 人口の多い大都市への出荷を目的として、限られた土地で野菜を育てる近郊農業が盛んである。
 2. 全国平均と比べて1戸あたりの耕地面積は小さいが、機械化によって米の産出額が半分を超えている。
 3. 冷涼な気候を活かして、米や果実の生産を主力とした小規模な家族経営が中心となっている。
 4. 広大な土地を活用した大規模経営が行われ、生産額では畜産が大きな割合を占めている。
- 問4 北海道の農業統計において、1970年代後半から約40年間で、稲の作付面積と総収穫量が減少している一方で、単位面積あたりの収穫量が増加している現象を説明する用語として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
1. 促成栽培の普及
 2. 耕作放棄地の拡大
 3. 農業生産性の向上
 4. 自給足率の低下
- 問5 北海道にある札幌、室蘭、知床などの都市名や地形名の多くに共通する歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 先住民であるアイヌ民族の言葉に、後から漢字を当てはめたものである。
 2. 明治時代の開拓使が、欧米の植民地を参考にして英語風の響きを漢字にしたものである。
 3. 縄文時代から続く日本の古語が、気候の影響で変化せずに残ったものである。
 4. 江戸時代に本州から渡った商人たちが、故郷の地名をそのまま付けたものである。
- 問6 北海道ではパルプ・紙・紙加工品製造業が地域の主要な産業の一つとなっています。この工業が北海道で発達した背景として、最も適切な理由を選びなさい。 (2021年 京都府公立入試 類似)
1. 海外から輸入した木材チップの加工に特化した貿易港があるため
 2. 大規模な消費地である東京圏に隣接しているため
 3. 内陸部に高度な技術を持つ機械部品工場が集積しているため
 4. 原料となる豊かな森林資源が豊富に存在するため
- 問7 ある都道府県の統計データによると、「年間訪問者数が約2,133万人」「世界遺産登録数が1件」「空港の数が14か所」「新幹線の駅の数」が2か所」となっています。この統計が示す都道府県名と、その交通網の特徴を説明した文の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
1. 北海道：広大な面積を有するため道内の航空網が発達しており、青函トンネルを通じて新幹線も乗り入れている
 2. 神奈川県：訪問客数は非常に多いが、羽田空港に近い県内に空港はなく、新幹線の駅は5か所設置されている
 3. 沖縄県：多くの離島を抱えるため空港の数は多いが、現在のところ新幹線は開通していない
 4. 奈良県：世界遺産の登録数は多いものの、内陸に位置し面積も狭いため、県内に空港は設置されていない
- 問8 北海道の石狩平野では、かつて激しく蛇行していた石狩川の流路を、人工的に作り替える大規模な治水工事が行われました。このような「河川の直線化」が行われた主な理由と、その後の土地利用の変化について説明した記述として最も適切なものはどれですか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
1. 川の流れを緩やかにすることで土砂を堆積させ、大規模な果樹園を造成するため。
 2. 洪水の被害を軽減して水を速やかに海へ流し、泥炭地を排水して農地を拡大するため。
 3. 内陸部への大型船の通航を可能にし、水上交通を利用した工業地帯を形成するため。
 4. 水力発電のための貯水池を確保し、周辺に製紙工場を誘致して工業化を進めるため
- 問9 昭和五十年代と平成十二年ごろの旭川市周辺の状況を比較した資料において、この地域で見られる土地利用の変化として最も適切なものはどれですか。 (2016年 京都府公立入試 類似)
1. かつての田畑や空き地が、住宅地や発電所などの施設へと転換された。
 2. 住宅地として利用されていた場所が、大規模な水田や畑へと整備し直された。
 3. 発電所などの公共施設が撤去され、その跡地がすべて伝統的な農地に復元された。
 4. 広大な森林地帯が、すべて道路の廃止に伴って未開発の空き地となった。
- 問10 農業従事者数と耕地面積の関係を示した資料において、他地域が「労働力が多く、耕地面積が狭い」傾向にあるのに対し、北海道は「労働力が少なく、耕地面積が極めて広い」という独自の特徴が見られます。このような北海道の農業の特色を端的に説明したものととして、正しいものはどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
1. 大型の機械を活用した大規模経営
 2. 労働力集約型による小規模経営
 3. バイオテクノロジーを駆使した都市近郊農業
 4. 伝統的な手作業を中心とした多角経営
- 問11 北海道の稚内や知床といった地名は、ある人々の言語に由来しています。これらの地名の元となった言語を使用していた、北海道の先住民を何と呼びますか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 蝦夷（えみし）
 2. 弥生人
 3. 縄文人
 4. アイヌ民族
- 問12 北海道の石狩平野などでは、かつて枯れた植物が十分に分解されずに積み重なった、水分が多く農業に不向きな「泥炭地」が広がっていました。この土地で稲作などを可能にするため、他の場所から質の異なる土を運び入れて土壌の性質を改善する土地改良の手法を何といいいますか。 (2022年 三重県公立入試 類似)
1. 客土
 2. 段々畑の造成
 3. 干拓
 4. 輪作